

# 事件概要

男性が同図書館のWebサイトからデータ  
を取得するためのプログラムを作成・実行

Webサイトにアクセス障害が発生

業務妨害として誤認？逮捕  
(起訴猶予処分で釈放)

図書館のシステムに問題が発覚  
個人情報流出も

# 男性と図書館の見解

## 男性

- ▶ プログラムに問題はなく、システムに影響を与えるものではない。
- ▶ 図書館のシステムに不具合があるのでは？
- ▶ 謝意はある。
- ▶ 嫌疑不十分ではなく起訴猶予であることに疑問。

## 図書館

- ▶ 図書館の対応に問題はない
- ▶ 通常利用ではないから不具合がおきた。

# 情報技術の進歩による問題

- ▶ 情報技術に関する法や制度の欠如  
(実例) 具体的な規則がないので、男性の利用が一般利用にあたるか判断できない。
- ▶ 情報技術に関する知識のギャップ  
(実例) 男性を含む専門家と、図書館や警察との間で見解の相違が生まれた。